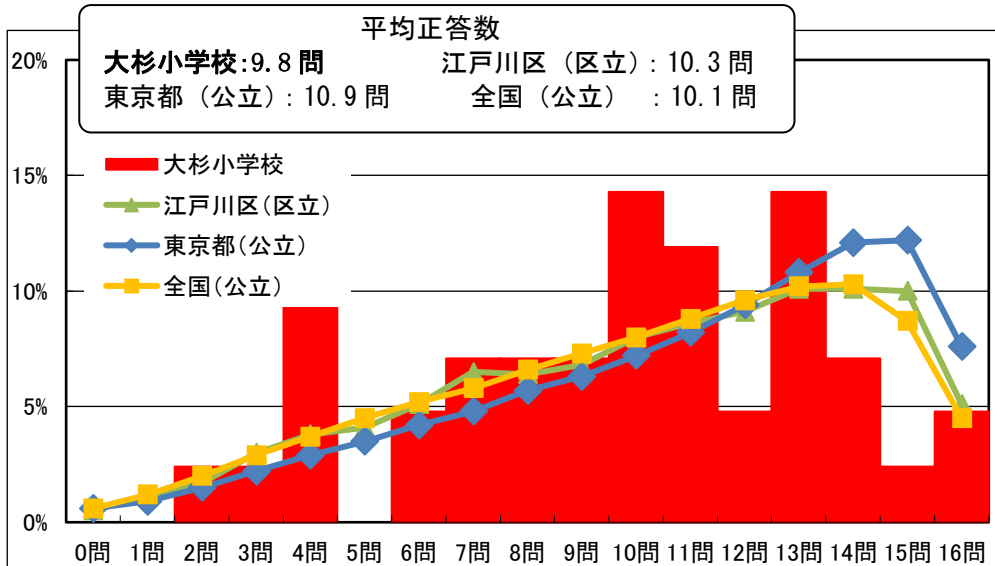


令和6年度 全国学力・学習状況調査結果と改善に向けて【算数】大杉小学校

正答数分布



<四分位における割合(都全体の四分位による)>

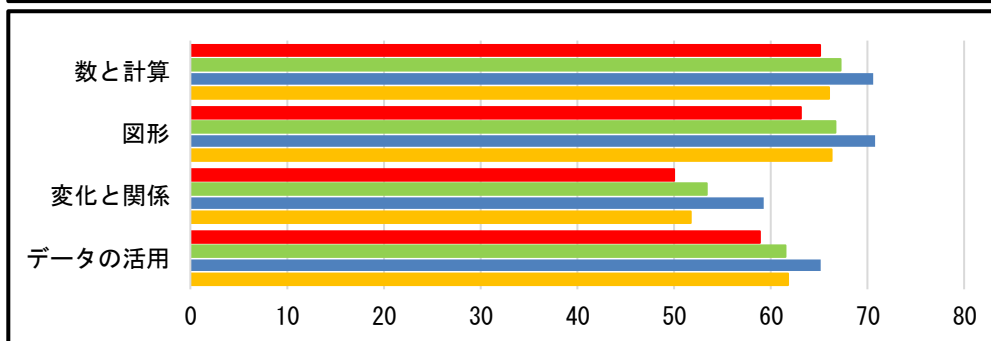
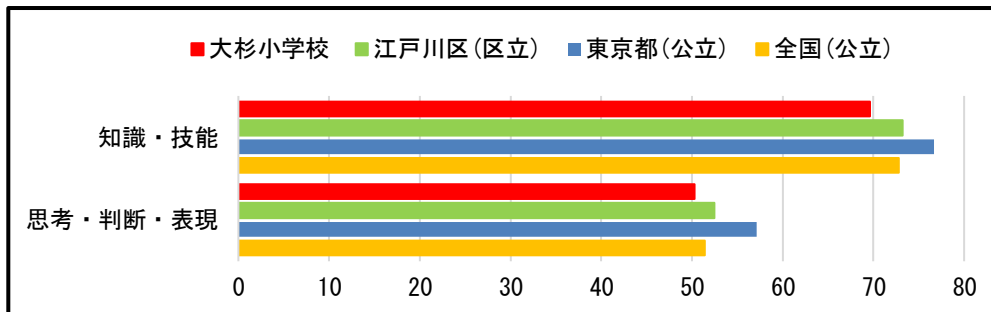
算数	上位 ←		→ 下位	
	A層 14~16問	B層 12~13問	C層 8~11問	D層 0~7問
大杉小学校	14.3	19.1	40.4	26.2
江戸川区(区立)	25.2	19.2	29.8	25.8
東京都(公立)	31.9	20.2	27.4	20.5
全国(公立)	23.5	19.8	30.7	26.0

【平均正答率の差】

大杉小学校	61%
江戸川区(区立)	64%
東京都(公立)	68%
全国(公立)	63.4%
都との差	-7%

四分位とは、データを値の大きさの順に並べたとき、児童数の1/4、2/4、3/4にあたるデータが含まれているのはどの集合かを示すものである。下の表では、四分位によって児童をA、B、C、D層に分けた時のそれぞれの層の児童の割合を示している。なお、本データで示している四分位は、東京都(公立)のデータを基に定めている。

「領域別」の結果



【分析結果と授業改善に向けて】

【分析結果】

- ・C層が40.4%と東京都と比べ約1.5倍となっている。
- 問題別調査結果から、「記述」の正答率が10%以上東京都と比べ下回っている。

【授業改善】

- ・「自力解決」の時間を多く確保し、「式・図・言葉」の様々な方法で考えさせていく。「自分の考え」を言葉で書かせたり、説明させたりすることを重視して授業改善を図っていく。